

第 42 回兵庫県医療審議会保健医療計画部会 議事概要

- 日 時：令和 5 年 1 月 19 日 15：00～16：00
- 場 所：兵庫県医師会館 2 階大会議室
- 出席委員：飯島 一誠 (兵庫県周産期医療協議会会長)
白井 里佳 (兵庫県愛育連合会会長)
大村 武久 (兵庫県病院協会会長)
笠井 秀一 (兵庫県薬剤師会会長)
澤田 隆 (兵庫県歯科医師会会長)
島 正之 (兵庫医科大学教授)
竹内 徹 (全国健康保険協会兵庫支部支部長)
太城 力良 (兵庫医科大学理事長)
成田 康子 (兵庫県看護協会会長)
西 昂 (兵庫県民間病院協会会長)
登里 倭江 (兵庫県いずみ会会長)
橋本 加代 (兵庫県栄養士会会長)
橋本 寛 (兵庫県医師会副会長)
浜上 勇人 (兵庫県町村会理事・香美町長)
高野 守秀 (兵庫県精神科病院協会理事)
- 欠席委員：中村 文代 (兵庫県消費者団体連絡協議会会長)
眞庭 謙昌 (神戸大学医学部附属病院院長)

●次 第

1 開会

2 保健医療部長挨拶

3 議事と結果

(1) 議決事項

① 次期保健医療計画改定について

令和 6 年 4 月の次期改定に向けたスケジュール案 (資料 1-1)、現行計画の数値目標の達成状況 (資料 1-2)、国の改定指針案 (資料 1-3) が説明された。また、計画改定の基礎資料を得るため実施する「医療需給調査」の調査内容案 (資料 1-4) が説明され、修正等の意見については当日いただいたものも含め、別途集約することとした。

(2) 報告事項

① 医療介護推進基金事業（医療分）の事後評価について

資料により事業実施結果や目標の達成状況及びその評価について報告された。

4 議決事項についての主なやりとり

○議決事項 (1) - ①

委員：資料 1-3「第 8 次医療計画等に関するとりまとめ」について、新たな項目として、薬剤師の確保について記載されている。従来の保健医療計画では、薬局、薬剤師は、「医師・歯科医師等」に含まれており、具体的な標記があまり見られなかった。しかし、今回の改定で、かなり具体的に薬局、薬剤師の話が盛り込まれている。これは、今回の改定で注目するポイントである。資料 3 ページの「薬剤師の確保について」では、書かれているとおりのことを行っていきたい。

薬剤師の関係で、現在、特に問題視されているのが、病院薬剤師の地域偏在である。そのあたりは、行政担当課との連携が大事になってくると思うので、今後とも適切な連携をお願いしたい。

委員：医療受給調査の精神疾患の項目について、精神科病院の喫煙問題が非常に問題になっているような書きぶりに感じられることが気がかりだ。実際は、ほとんどの病院が禁煙になっており、全面禁煙に対して反対しているのはごく少数である。アルコールや覚醒剤の中毒を主に治療している病院が、「アルコールを我慢させているのに、喫煙まで我慢させるのはどうなのか」ということでかなり強行に反対している。この調査だと、精神科病院全体が禁煙をできていないように見えるが、我々も努力しており、どうしても特殊な事情があるので、そのあたりをご理解いただきたい。

事務局：受動喫煙については、健康増進課の方で所管している。精神科病院協会等の皆様にご協力いただき、施設内での禁煙については着実に進んでいると認識している。受動喫煙の項目については、精神科病院だけがそういった疾患を持つ患者が居るため、調査の必要性があることから残させていただいている。

委員：入院患者の調査について、2月1日に調査をされるということは、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい状況で、調査することとなる。先ほどご説明いただいた国の資料 1 - 3 では、新型コロナの影響を受けていない数値を用いると示されていたので、その立て付けはどうなっているのか。

事務局：今回の入院患者の調査票については、直近の実態を知りたいということで、コロナ禍ではあるが、2月1日時点で調査を行う。国の通知の基準病床については、コロナの影響を受けていない数値を使うという整理になっているので、その数値を使っていきたい。

委員：最近、若い人、子どものコロナ感染が増加している。小児のコロナ患者の受入が難しい医療機関もあると思うので、小児医療の設問にもコロナの項目を入れていただきたい。

事務局：担当課と調整していく。